

RAKUNO GAKUEN UNIVERSITY EXTENSION CENTER

酪農学園大学社会連携センター

2020年度

市民公開講座



酪農PLUS+マスコット
サンディー



RAKUNO GAKUEN UNIVERSITY

酪農学園大学

<https://www.rakuno.ac.jp>



2020年度 開催スケジュール

開催日時	講座名	掲載ページ
5月17日(日) 10:00～11:30	花の見方・楽しみ方 —百合が原公園でチューリップと ムスカリを楽しもう—	3
5月23日(土) 13:00～15:15	①生きものと食べもの —生命と食を考える— ②乳からチーズへ —作る技術と美味しさの秘密—	4
5月31日(日) 10:00～15:00	熱帯に生きるゾウやオランウータンの 野生での暮らしを考える	5
6月27日(土) 9:30～11:30	ペットの健康—これって目の病気?—	6
8月1日(土) 9:00～12:10	①生き物の設計図・DNAを取り出して みよう ②遊びながら学ぶ、水を使った楽しい 実験	7
10月3日(土) 9:00～11:40	①ペットの健康 —これって病気のサイン?— ②ペットの栄養—ライフステージに あわせたごはんとおやつ—	8
10月17日(土) 9:00～12:00	ドローンを飛ばして 空から大地をみてみよう	9
11月7日(土) 10:00～11:30	天気予報のみかたと防災について —北海道の冬編—	10
11月21日(土) 9:00～12:00	体格・体組成の改善に向けた測定と筋 トレ実践	11
12月13日(日) 9:00～11:10	①2020年のクマ動向 —札幌圏のヒグマを中心に— ②どうなってるの? 野幌のエゾシカ	12
2月27日(土) 9:00～11:10	①自宅の菜園土壌の健康(養分)状態を 知ろう! ②ジャガイモの来歴と適した栽培方法 について	13

すべての講座が道民カレッジ、えべつ市民カレッジ連携講座に認定されています。

定員	受講料	申込締切	備 考
30名	1,000円	4月24日(金)	  
50名	無料	5月1日(金)	   
40名	1,000円	5月8日(金)	  
50名	1,000円	6月5日(金)	 
50名	1,000円	7月10日(金)	     
50名	1,000円	9月11日(金)	 
15組	1,000円	9月25日(金)	   
50名	1,000円	10月16日(金)	  
30名	1,000円	10月30日(金)	 
50名	1,000円	11月20日(金)	  
50名	1,000円	8月28日(金) (土壌分析希望 有) 2月8日(月) (土壌分析希望 無)	 

5月17日(日)

講義・見学

10:00～11:30

花の見方・楽しみ方

―百合が原公園でチューリップと ムスカリを楽しもう―

講師：森 志郎(循環農学類 准教授)

5月中旬、サクラからのバトンを受け継いでチューリップやムスカリの季節がやってきます。チューリップは中央アジア原産の植物。16世紀にはトルコからヨーロッパに伝わり、高い人気を得て様々な品種が開発されました。タネから育てると花が咲くまで6年もかかるって知っていますか？講座では、園内の『ムスカリの道』を散策しながら植物の性質や管理方法について学びます。子どもから大人まで楽しめる初心者向けの講座です。



対 象：小学5年生～一般

受 講 料：1,000円

定 員：30名

申込締切：4月24日(金)

会 場：札幌百合が原公園

入 園 料：大人(高校生以上)130円

中学生以下、65歳以上の方は証明書のご提示で無料となります。

※現地集合、現地解散(交通費・入園料は個人負担)となります。

5月23日(土)

講 義

講義① 13:00～14:00

生きものと食べもの —生命と食を考える—

講師:石井 智美(食と健康学類 教授)

ヒトは「食べること」で生命を繋いできました。ヒトの歴史とは、換言すると「飢えとの闘い」でした。我々の祖先は身近なものから食べることが出来るものを選び、「火を使う(料理する)」ことで進化してきました。そして野生動物の中から選抜して家畜化を試み、乳、肉を利用してきました。そこには経験に裏打ちされた発酵を活用した驚きの知恵が満ちています。学際的な見地から、家畜と食に関わる最新の知見を紹介します。

講義② 14:15～15:15

乳からチーズへ —作る技術と美味しさの秘密—

講師:竹田 保之(食と健康学類 教授)

チーズは人類史上最も古い加工食品の一つと言われています。では、乳からチーズへの変化や熟成による味の変化はどのようにして起きのでしょうか。これらの科学的なメカニズムが分かってきたのは、実はそれほど昔のことではありません。本講座では、もっとチーズを楽しめるよう、いろいろなチーズの違いやそれらを作る技術、そしてチーズの美味しさについて解説しながら、チーズの奥深さについて知ってもらおうと思います。

対 象：小学5年生～一般

受 講 料：無料

定 員：50名

申込締切：5月1日(金)

会 場：札幌市教育文化会館302研修室

※現地集合、現地解散(交通費は個人負担)となります。

5月31日(日)

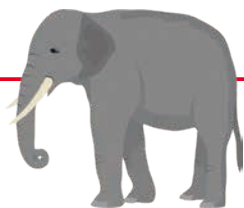
講義・見学

10:00～15:00

熱帯に生きる ゾウやオランウータンの 野生での暮らしを考える

講師:金子 正美(環境共生学類 教授)

2019年、円山動物園に4頭のアジアゾウがやってきました。このゾウたちは素晴らしい環境の中、専門の飼育員に育てられています。では、このゾウたちの野生での暮らしは、どうなのでしょう？今、マレーシアのボルネオ島では、油ヤシのプランテーションの開発などにより、ゾウの生息地が脅かされています。これにより、彼らに絶滅の危機が迫っていると同時に、人や農地への被害も増加しています。本講座では、ゾウやオランウータンの野生での生活と動物園での生活を学び、生物多様性の保全について考えます。



対 象：小学5年生～一般

受 講 料：1,000円

定 員：40名

申込締切：5月8日(金)

会 場：札幌市円山動物園

入 園 料：大人(高校生以上)600円

中学生以下、札幌市内居住の65歳以上の方は
証明書のご提示で無料となります。

※現地集合、現地解散(交通費・入園料は個人負担)となります。

※入園料は変更になることがあります。

6月27日(土)

講 義

9:30～11:30

ペットの健康

－これって目の病気？－

講師：前原 誠也(獣医学類 准教授)

動物にもヒトと同じように多くの種類の目の病気があります。その中には緊急的な対応が必要なものもあり、治療が遅れると失明してしまうこともあります。「見る」ということは動物の生活にとって重要であることは言うまでもありません。本講座では、動物の目の病気で見られるサインについて解説します。動物の「見る」を守るために、我々が気付いてあげられることを考えてみましょう。



対 象：小学5年生～一般

受 講 料：1,000円

定 員：50名

申込締切：6月5日(金)

会 場：酪農学園大学 研修館

8月1日(土)

講義・体験

講義① 9:00～10:30

生き物の設計図・ DNAを取り出してみよう

講師:佐藤 元昭(循環農学類 教授)

生き物はすべて細胞という小さな粒からできています。その一つ一つには生き物の設計図が入っていますが、その設計図はDNAという物質でできています。わたし達ヒトの色々な活動にも必要ですが、いつも食べているほとんどの食品の中にも入っています。今回は身近な食材タマネギから台所でもできる方法でDNAを取り出してみます。

講義② 10:40～12:10

遊びながら学ぶ、 水を使った楽しい実験

講師:中谷 暢丈(環境共生学類 教授)

蛇口をひねれば出てくる水は、炊事、洗濯、風呂などの生活の中で使われたり、料理や飲物として人の体内に取り込まれたりしていますが、実は液体として不思議な性質を持っています。この理科実験講座では、身の回りにあるものを使って、液体である水そのものが有する表面張力の性質と、液体の水と固体の片栗粉との混合物に見られるダイラタンシー流体の性質について、暑い夏にピッタリな実験を通じて学び、その不思議な性質を考えてみましょう。

対象：小学5年生～一般

受講料：1,000円

定員：50名

申込締切：7月10日(金)

会場：酪農学園大学

B4号館312教室、107教室

10月3日(土)

講 義

講義① 9:00～10:30

ペットの健康

—これって病気のサイン?—

講師:井坂 光宏(獣医学類 准教授)

動物医療もヒトと同じように高齢化が進んでおります。病気の症状も様々で、一番身近な存在であるご家族の方が最初に気づくことが大切です。そのためには異常な症状が出た時にどのような病気と関連しているかを理解することが大切です。毎日の愛犬、愛猫との生活の中で気を付けてあげなければならない事、よく見ておくべき注意点を中心に本講座では自宅で分かる症状と考えられる病気のことについて理解を深めるため一緒に勉強したいと思います。

講義② 10:40～11:40

ペットの栄養

—ライフステージにあわせた ごはんとおやつ—

講師:宮庄 拓(獣医保健看護学類 講師)

わんこにゃんこに必要な栄養やライフステージにあわせたごはんやおやつについてお話しします。わんこにゃんこ、「それぞれ必要な栄養は?」「それぞれのライフステージに必要な栄養をどのように与えればイイの?」「おやつはどのようなものをどの程度与えてイイの?」これらの疑問にお答えします。

対 象:小学5年生～一般

受 講 料:1,000円

定 員:50名

申込締切:9月11日(金)

会 場:酪農学園大学 C1号館101教室

10月17日(土)

講義・体験

9:00～12:00

ドローンを飛ばして 空から大地をみてみよう

講師:金子 正美(環境共生学類 教授)

ドローンは、近年、農業、防災、環境保全など、様々な分野で利用されてきています。酪農学園大学では、2008年に全国で最も早くドローンを導入し、米や小麦のモニタリング、エゾシカの足跡調査、湖沼における水鳥のカウントなど、特に農業と環境の分野で活用しています。本講座では、ドローンの仕組み、規制、活用事例を学ぶとともに、実際にドローンを飛ばし、写真の撮影、簡単なプログラミングを実習します。



対 象：小学5年生～高校3年生のお子さんを
含む家族(親子、兄弟、祖父母など)

※1家族3名までとさせていただきます

※お子さん(小学5年生～高校3年生)のみの受講は可能ですが、大人の方のみの受講はできませんのでご了承ください。

※上靴をお持ちください。

受 講 料：1,000円／人

定 員：15組

申込締切：9月25日(金)

会 場：酪農学園大学 健民館

11月7日(土)

講 義

10:00～11:30

天気予報のみかたと 防災について

－北海道の冬編－

講師：馬場 賢治(環境共生学類 准教授)

北海道に住んでいる皆様にとっては、今年の冬の気候について大変気になっていることでしょう。本講座では、天気予報のみかたや活用法を紹介するとともに、気象庁発表の長期予報を基にした冬場の対策を講じたいと思います。また、冬季に特徴的な地域的な気象(降雪や雷など)を学び、防災や減災に繋がられるように解説を行っていきたいと思います。



対 象：小学5年生～一般

受 講 料：1,000円

定 員：50名

申込締切：10月16日(金)

会 場：酪農学園大学 C1号館101教室

11月21日(土)

講義・運動

9:00～12:00

体格・体組成の改善に向けた測定と筋トレ実践

講師: 山口 太一(食と健康学類 准教授)
柴田 啓介(食と健康学類 助教)

わたしたちの体格(体重など)や体組成(体脂肪率、筋肉量、骨密度など)は運動、栄養、休養のバランスの影響を受けます。つまり、体格・体組成に問題があるということは運動、栄養、休養のバランスが崩れている可能性があります。本講座では、体格および体組成の測定を行い、問題点を確認します。さらに、筋力トレーニング(筋トレ)をみなさんで実践し、筋トレ後には本学の健土健民牛乳を飲んで、体格・体組成を良好にする術を学びます。



対象：小学5年生～一般

受講料：1,000円(牛乳代を含む)

定員：30名

申込締切：10月30日(金)

会場：酪農学園大学

トレーニングセンター2階

※動きやすい服装でお越しください。

※室内用運動靴をお持ちください。

12月13日(日)

講 義

講義① 9:00～10:00

2020年のクマ動向

—札幌圏のヒグマを中心に—

講師:佐藤 喜和(環境共生学類 教授)

2019年は札幌市、北広島市だけでなく江別市にまでヒグマが出没したことで、都市住民にとってもヒグマ問題が身近なものとなりました。2020年は静かな1年となるでしょうか。ヒグマも冬眠に入り始める12月に改めて1年間のクマの動きについて振り返り、環境共生とクマ問題についてみなさんと考えたいと思います。

講義② 10:10～11:10

どうなってるの？

野幌のエゾシカ

講師:伊吾田 宏正(環境共生学類 准教授)

全道的に増えすぎて問題になっているエゾシカ。10年以上前から野幌森林公園にも分布を広げ、植生への影響や農林業被害などが懸念されます。この地域のエゾシカとどのように付き合っていくべきか、考えてみたいと思います。

対 象:小学5年生～一般

受 講 料:1,000円

定 員:50名

申込締切:11月20日(金)

会 場:酪農学園大学 C1号館101教室

2021年

2月27日(土)

講 義

講義① 9:00～10:00

自宅の菜園土壌の 健康(養分)状態を知ろう!

講師:澤本 卓治(循環農学類 教授)

ご自宅で家庭菜園をされている方も多くいらっしゃると思います。家庭菜園では作物の生育や収穫物に目が向きますが、土壌の養分状態をご自宅で調査することは難しいことです。今回は、事前に本学へ菜園土壌を送付していただき、講師がそれを簡易的に分析した結果をご紹介します。土壌の調整について考えます。(土壌分析を希望される場合は、2020年夏秋の収穫直後かつ、堆肥・石灰をまく「前」の土壌を送付していただきます。)

講義② 10:10～11:10

ジャガイモの来歴と 適した栽培方法について

講師:亀岡 笑(循環農学類 講師)

北海道の食に欠かせない「ジャガイモ(バレイショ)」。たくさんの人に愛され、家庭菜園で栽培されている方も多いと思います。そんなバレイショには、実は様々な興味深いストーリーが隠されています。本講演では、バレイショが生まれたペルー高地から、今日まで世界中に親しまれる作物になるまでの来歴をご紹介します。作物の来歴を知ることは生理的特徴への理解につながります。講演後半では、ジャガイモ生産が北海道で盛んな理由をはじめ、適切な栽培方法についても生理的特徴とあわせて解説します。

対 象: 小学5年生～一般

受 講 料: 1,000円

定 員: 50名

申込締切: 8月28日(金)(土壌分析希望の方)

2月8日(月)(土壌分析希望しない方)

会 場: 酪農学園大学 C1号館101教室

酪農PLUS⁺



酪農PLUS⁺とは？

月刊誌「酪農ジャーナル」の電子版として

2018年4月に開設したWebサイトです。

牛乳を使ったレシピ動画やロープワーク動画など
みなさんに“プラス”になる情報を配信しています。
登録不要で、どなたでも無料でご覧いただけます。



酪農PLUS



<https://rp.rakuno.ac.jp>

HP



facebook



Instagram



お申し込み方法

FAX

添付の「市民公開講座 受講申込書」をご利用ください。

はがき・メール

下記項目をご記入の上、お申し込みください。

- ①申込講座名 ②郵便番号・住所 ③氏名(フリガナ)
- ④性別 ⑤生年月日・年齢 ⑥電話番号 ⑦E-mail
- ⑧道民カレッジ生の方は手帳番号

ホームページ

<https://exc.rakuno.ac.jp/regional/study.html>または、以下のQRコードからアクセスし、申込フォームに必要事項を明記の上お申し込みください。

- お申し込み受付後、有料講座の場合は約1ヶ月前、無料講座の場合は約10日前を目処に『開講のご案内』を送付いたします。
- 有料の講座につきましては、『開講のご案内』に**払込取扱票**を同封いたします。大変お手数ですが、所定の期日までに最寄りの郵便局にて受講料をお振り込みください。なお、一度ご入金いただいた受講料は、いかなる場合にも返金できませんのでご了承ください。

お問い合わせ先

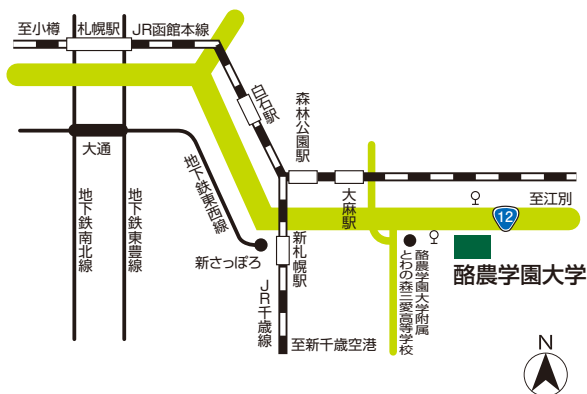
〒069-8501 江別市文京台緑町582番地
酪農学園大学社会連携センター 地域連携課
TEL:011-388-4131
FAX:011-387-2805
E-mail:rg-ext@rakuno.ac.jp



お願い・注意事項

- 受付は先着順となります。申込後、やむを得ず受講できなくなった場合には、事前にご連絡ください。
- 受講者が一定の人数に達しないなど、やむを得ない事情で開講できない場合や、日時・講師および講義内容に変更が生じる場合がございます。
- 講座風景を撮影し、ホームページ・印刷物等に使用させていただく場合があります。
- キャンパス敷地内はすべて禁煙です。喫煙所の設置はありません。

大学までのアクセス



- J R 札幌駅より函館本線(江別・岩見沢方面行)
「普通列車」に乗車、大塚駅で下車。
- 新札幌バスターミナル(野幌・江別・岩見沢・南幌方面行)
北レーン:JRバス10番乗り場、夕鉄バス12番乗り場より乗車。
「とわの森三愛高校前」または「酪農学園大学前」で下車。
- お車、自転車でお越しの方は、送付いたします『開講のご案内』
に記載された指定の駐車場をご利用ください。

構内案



内 図



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



酪農学園大学はSDGsの達成に貢献していきます。

〒069-8501 江別市文京台緑町582番地
酪農学園大学社会連携センター 地域連携課

TEL : 011-388-4131 FAX : 011-387-2805
E-mail : rg-ext@rakuno.ac.jp
URL : <https://exc.rakuno.ac.jp/regional.html>



酪農学園大学は、2014年度「公財」日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価において大学評価基準に適合していると認定されました。